

取組個票①5年間の取組全体概要

| | | |
|--|---|--|
| ①取組名 | 取組12 | アジアのベンチャーをネットワーク化する“Asian Entrepreneurship Award”の開催 |
| ②対応する目標・課題 | ・大学・研究機関発ベンチャー企業における資金調達・人材確保・ネットワーク構築という課題に対し、持続可能な地域経済を実現させる創業育成モデル地区を創出する。 | |
| ③対応する評価指標・目標値 | ■評価指標：毎年1回の開催とその積み重ねによるアジアネットワークの構築 | ■目標値：0回/年の開催 ⇒ 1回/年の開催 |
| <p>④取組内容</p> <p>つくばエクスプレス沿線における豊富な起業シーズや、大学発ベンチャー企業数国内1位の東京大学のキャンパスがあり、かつTX アントレプレナーパートナーズ[TEP]による支援も手厚い柏の葉キャンパスをコアとして、アジアの大学発ベンチャーのネットワークを築き、ベンチャー支援の土壌のある本エリアをアジアのベンチャー企業のメッカとすることを目指し、全3日の日程で“Asian Entrepreneurship Award”を開催する。開催にあたっては、東京大学の学生起業家育成プログラムを推進している東京大学 産学連携本部事業化推進部長・各務茂大教授をプロジェクトマネージャーとし、日本のほか、中国・シンガポール・インド・タイ・韓国・台湾、のアジア各国からベンチャー企業を招集し、地域の民間企業の支援のもと、表彰する。</p> <p>["Asian Entrepreneurship Award" 概要 http://www.fdc.or.jp/aea/]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出場者のプレゼンテーションと表彰、交流会、周辺エリアへのエクスカージョンを実施。 ・参加国：日本・中国・シンガポール・香港・インド・インドネシア・ベトナム・マレーシア・タイ・韓国・台湾など 第1回は18チーム、第2回は20チームが参加。発展的に継続し、規模も大きくしていくことを目指す) ・対象企業参加国のトップ数大学と連携し、大学発ベンチャーを中心に技術系ベンチャーを招聘。設立5年以内、未上場企業を条件とする。 ・主催：一般社団法人フューチャーデザインセンター[FDC] ・共催：一般社団法人TXアントレプレナーパートナーズ[TEP]、千葉県、東京大学産学連携本部、三井不動産 ・後援：経済産業省、柏市、つくば市、独立行政法人産業技術総合研究所、日本ベンチャー学会、柏商工会議所ほか ・協賛：住友化学、日立製作所、インテル、新日本有限責任監査法人、日本HPIほか <p>[表彰・審査]</p> <p>出場されたアントレプレナーの功績や活躍を審査し、賞を授与。千葉県柏市のインキュベーション施設「東葛テクノプラザ」への無料入居権など。また賞金だけではなくTEPによるメンタリングなど、具体的なビジネス支援を提供。</p> <p>[審査方法]</p> <p>セミファイナルでエントリー企業がそれぞれ10分間のプレゼンテーションを行い、審査によりファイナルへ6社選出。ファイナルでは15分間のプレゼンテーションと10分間の質疑応答。</p> <p>[審査基準]</p> <ol style="list-style-type: none"> ①事業の革新性／経済的・社会的影響力(世界経済・社会に変革をもたらす可能性、事業の拡張性) ②事業の実行力(競争優位性、マネジメントチーム、戦略の全体整合性、プレゼンテーションスキルを含むコミュニケーション能力) <p>[各賞]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1位(1社)：賞金300万円＋副賞 ・2位(1社)：賞金150万円＋副賞 ・3位(1社)：賞金50万円＋副賞 ・千葉県賞、協賛企業による賞など | | |
| ⑤エリア 柏の葉キャンパスエリア周辺(東葛テクノプラザほか) | | |
| <p>⑥主体</p> <p>一般社団法人フューチャーデザインセンター[FDC]</p> <p>事業費・事業規模</p> <p>総事業費：35,000千円</p> <p>(内訳)</p> <p>運営業務委託契約費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営関連費(人権費、交通費、打合せ費等) ・広報、広告、制作関連費(事前周知用パンフレット制作費、ウェブサイト制作費、エントリー受付経費等) ・イベント関連費(会場費、会場制作関連費、記録写真・映像等) ・その他雑費 | | |
| <p>⑦活用した国等の制度</p> <p>創業支援事業計画(認定済み)</p> <p>(平成26年1月20日に施行された産業競争力強化法に基づき、地域における創業の促進を目的として、市区町村が創業支援事業者と連携して策定する「創業支援事業計画」が平成26年3月20日に認定されている。)</p> | | |
| ⑧地域の関与 | | |
| ⑨スケジュール | | |
| 23年度 | 開催準備 | |
| 24年度 | 開催(5月9～11日) | |
| 25年度 | 平成25年5月29～31日開催。以降、毎年1回の開催継続とアジアネットワークの構築 | |
| 26年度 | | |
| 27年度 | | |
| 28年度 | | |
| 29年度以降 | | |
| <p>⑩他の取組との連携</p> <p>取組名：大学・研究機関発ベンチャーを対象とした総合的支援</p> <p>連携内容：アジアの大学・研究機関発ベンチャーとのネットワークキングの実施(AEADay2交流会への招待、AEAメンタリングセッションへの参加)</p> <p>取組名：個人(インフルエンサーやエンジェル)による創業支援のモデルケースの実現</p> <p>連携内容：TEPによる共催</p> <p>取組名：地域の方で街を育てる地域力ポイント制度</p> <p>連携内容：TEPを通じた地域における活動への寄与に対するポイント付加の検討</p> | | |
| <p>⑪自立・自律の方針・目標</p> <p>アジアの大学研究や経済をリードする存在として、大学・研究機関発ベンチャー企業のネットワークを構築し、そのコアを明確化することで、今後は、国内の大学はもちろんのこと、アジアの各大学間、各ベンチャー企業間の交流を促進し、将来的にはさらなる連携・強化を推進する。参加大学や参加ベンチャー企業の数も増えれば、現在以上に数多くのスポンサー企業を募ることができるようになり、民間企業による創業育成活動の活性化に繋がり、日本、或いはアジアにおける創業育成の自立的・自律的モデルとなる。</p> | | |